

2022 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

令和4年10月1日、上野恩賜公園不忍池周辺（東京都江東区）において、「2022 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が、日本獣医師会の活動方針である「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」をテーマとして、約5,000名の来場者を得て盛大に開催された。

本行事は、動物の診療だけではなく人の健康にも深く関わるさまざまな仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に日本獣医師会が公益事業として開催している。第16回目を迎える本年は、環境省等が主催する動物愛護管理法に基づく行事である動物愛護週間中央行事（屋外行事）との共催で開催された。関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、地方獣医師会をはじめ関連団体の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物を企画し、獣医学系大学の学生、動物看護学生、動物飼育者等をはじめ、多数の一般市民に来場いただいた。

開会式では、はじめに動物愛護週間中央行事の主催者である動物愛護週間中央行事実行委員会を代表して環境省自然環境局総務課動物愛護管理室の野村環室長から環境省大臣官房審議官の松本啓朗審議官の挨拶が代読された。

続いて、動物感謝デーの主催者として本会蔵内勇夫会長から、以下の挨拶がなされた。

「公益社団法人 日本獣医師会会長の蔵内勇夫と申します。本日は、動物愛護フェスティバル並びに動物感謝デーにご参集いただき誠にありがとうございます。日本獣医師会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行の森 英介衆議院議員、麻生太郎会長秘書の野田秘書官、自由民主党ペット関連産業・人材育成議員連盟会長である片山さつき参議院議員、公明党獣医師・動物看護師議員懇話会幹事の河西宏一衆議院議員、内閣府大臣政務官である自見はなこ参議院議員をはじめ、私共が常々ご指導、ご支援を賜っております関係官庁、団体、企業等から多数のご来賓にご出席いただいて、2022 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”が、動物愛護週間中央行事と同時開催されますことに、ご準備をいただいた関係者及びご来場いただいた皆様方

に心から感謝申し上げます。

この『動物感謝デー』は、世界獣医師会が提唱する獣医師に関する広報イベント “World Veterinary Day”の一環として、獣医師の職域の多様性や人と動物が共生する豊かな社会の構築について、国民の皆様にご紹介することを目的として、日本獣医師会及び55地方獣医師会、全国獣医学生協会並びにご支援いただいている関連団体・企業のご協力をいただき、開催しています。

一昨年、昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止となり、皆様方をお迎えして開催する行事は3年ぶりとなります。

ポストコロナ時代においては、『人の健康』、『動物の健康』、そして『環境の健康』は密接につながっているとする “One Health” の概念が、持続可能で安全・安心な社会の構築に不可欠なものとして世界的に理解が広がっています。『動物感謝デー』は “One Health” の考え方に基づく獣医師会活動指針『動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。』をテーマとしています。獣医師はこれからも広範かつ多様な職域の中で着実に役割を果たし、人と動物が共生できる豊かな国民生活の構築に向けて尽力してまいります。

本日ご来場いただいた皆様には、さまざまな企画を通じて、動物たちと獣医師の役割を身近に感じていただければ幸いです。

それでは、2022 動物感謝デーをどうぞ十分にお楽しみください。」

続いて来賓として、森英介自由民主党獣医師議員連盟会長代行・衆議院議員、片山さつき自民党ペット関連産業・人材育成議員連盟会長・参議院議員の挨拶、河西宏一公明党獣医師・動物看護師議員懇話会幹事・衆議院議員、自見はなこ内閣府大臣政務官自由民主党参議院議員から激励の言葉をいただいた。その後、熊谷法夫農林水産省大臣官房審議官、三木 朗厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長、鋤柄卓夫内閣府食品安全委員会事務局長、特別協賛社等の来賓の紹介、祝電披露、日本全薬工業株式会社及びベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスジャパン株式会社から本会に200万円が贈呈されたセーブペットプロジェクト寄付金授与式が行われた。続いて放鷹義塾により、開会宣言のメッセージを携えた鷹が客席の後方から砂原副会長のもとへ飛んでいく演出が行われ、砂原副会長から開会が宣言された。

引き続き、ステージでは農林水産省動物検疫所羽田空港支所と獣医コミュニケーション研究会（農場どないすんねん研究会：NDK）の協力による獣医師の仕事と役割を紹介する「知っていますか？ 獣医師の仕事」として、NOSAI、公務員獣医師の紹介のほか、動物検疫所による検知犬のデモンストレーションが行われた。その他、東京都獣医師会の協力による「猫・よもやまトークセッション『ニャンタレスティングのすすめ!』」が行われ、さらに動物愛護週間中央行事としてのプログラムが開催された。

展示・体験コーナーでは、本会が学校法人シモゾノ学園及び獣医学生協会の協力を得て実施した「一日獣医師体験コーナー」を実施した。参加した子どもたちは獣医学生の指導を受けながら、聴診・触診・視診等の身体検査を体験し、瞳を輝かせていた。

そのほか、日本中央競馬会と馬事文化財団・馬の博物館、日本装削蹄協会による「馬とのふれあい写真撮影」、中央畜産会・馬事畜産振興協議会による「蹄鉄輪投げ」、獣医学生協会による直腸検査や聴診を体験できるブースには、多数の来場者が訪れた。

全てのプログラムの最後にメインステージで行われた閉会式では、鳥海 弘動物感謝デー企画検討委員会委員長・公益社団法人日本獣医師会関東地区理事と田畑直樹動物愛護週間中央行事実行委員会委員長・公益財団法人日本動物愛護協会理事長から、閉会挨拶として、本年のイベントが盛会裏に終了したことへの御礼が述べられた。

日本獣医師会では、今後とも、日本獣医師会・獣医師会活動の指針の理念に基づき、本行事等を通じた、広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に共催、後援、協賛、協力をいただいた省庁、自治体、企業、団体を改めて紹介し、本年の開催への温かい支援、全国55地方獣医師会、地区獣医師会連合会の出展、協賛等への協力、さらに日本獣医学生協会及び福岡県及び北九州市の職員の皆様、地元動物看護系専門学校の多数のボランティアスタッフによる事業運営支援に対して心からお礼申し上げます。

2022 動物感謝デー in JAPAN 協賛・後援・協賛・協力団体

【後 援】

農林水産省、環境省、文部科学省、外務省、内閣府食品安全委員会、東京都、台東区、公益社団法人日本獣医学会、公益社団法人日本動物病院協会、一般財団法人動物看護師統一認定機構、一般社団法人日本動物看護職協会、World Veterinary Association、ヒトと動物の関係学会、AIPO（動物ID普及推進会議）

【特別協賛】

共立製薬株式会社、日本全薬工業株式会社、アマゾンジャパン合同会社、バーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスジャパン株式会社

【協賛・協力】

アニコム損害保険株式会社、イオンペット株式会社、いなばペットフード株式会社、千寿製薬株式会社、デビフペット株式会社、株式会社森乳サンワールド、MPアグロ株式会社、株式会社アグリリス、森久保CAメディカル株式会社、株式会社安田システムサービス/損害保険ジャパン株式会社、日生研株式会社、農林水産省消費・安全局、農林水産省動物検疫所羽田空港支所、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室、日本中央競馬会、公益財団法人馬事文化財団（馬の博物館）、公益社団法人全国農業共済協会、公益社団法人畜産技術協会、公益社団法人中央畜産会、公益社団法人日本愛玩動物協会、公益社団法人日本装削蹄協会、公益社団法人Knots、一般財団法人生物科学安全研究所、一般社団法人ジャパンケネルクラブ、一般社団法人全国ペット協会、一般社団法人日本家畜人工授精師協会、一般社団法人日本養豚開業獣医師協会、一般社団法人ペットフード協会、一般社団法人日本ペット用品工業会、特定非営利活動法人動物愛護社会推進協会、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会、狂犬病臨床研究会、獣医コミュニケーション研究会（農場どないすんねん研究会：NDK）、放鷹義塾/STOOPER Falconry、学校法人ヤマザキ動物看護大学、学校法人シモゾノ学園国際動物専門学校/大宮国際動物専門学校、奈良県うだ・アニマルパーク振興室、日本獣医学生協会（JAVS）

【協力地方獣医師会】

公益社団法人北海道獣医師会、公益社団法人青森県獣医師会、一般社団法人岩手県獣医師会、公益社団法人宮城県獣医師会、公益社団法人秋田県獣医師会、公益社団法人山形県獣医師会、公益社団法人福島県獣医師会、公益社団法人仙台市獣医師会、公益社団法人茨城県獣医師会、公益社団法人栃木県獣医師会、公益社団法人群馬県獣医師会、公益社団法人埼玉県獣医師会、公益社団法人千葉県獣医師会、公益社団法人神奈川県獣医師会、公益社団法人山梨県獣医師会、公益社団法人横浜市獣医師会、公益社団法人川崎市獣医師会、公益社団法人東京都獣医師会、公益社団法人新潟県獣医師会、公益社団法人富山県獣医師会、公益社団法人石川県獣医師会、公益社団法人福井県獣医師会、一般社団法人長野県獣医師会、公益社団法人岐阜県獣医師会、公益社団法人静岡県獣医師会、公益社団法人愛知県獣医師会、公益社団法人名古屋市獣医師会、公益社団法人

人 三重県獣医師会，公益社団法人 滋賀県獣医師会，公益社団法人 京都府獣医師会，公益社団法人大阪府獣医師会，一般社団法人 兵庫県獣医師会，公益社団法人 奈良県獣医師会，公益社団法人 和歌山県獣医師会，公益社団法人 京都市獣医師会，公益社団法人大阪市獣医師会，公益社団法人 神戸市獣医師会，公益社団法人 鳥取県獣医師会，公益社団法人 島根県獣医師会，公益社団法人 岡山県獣医師会，公益社団法人 広島県獣医師会，公益社団法人 山口県獣医師会，公益社団法人 徳島県獣

医師会，公益社団法人 香川県獣医師会，公益社団法人 愛媛県獣医師会，公益社団法人 高知県獣医師会，公益社団法人 福岡県獣医師会，公益社団法人 佐賀県獣医師会，公益社団法人 長崎県獣医師会，一般社団法人 熊本県獣医師会，公益社団法人大分県獣医師会，一般社団法人 宮崎県獣医師会，公益社団法人 鹿児島県獣医師会，公益社団法人 沖縄県獣医師会，公益社団法人 北九州市獣医師会



野村環境省自然環境局総務課
動物愛護管理室長



藏内勇夫会長



森 英介衆議院議員



片山さつき参議院議員



河西宏一参議院議員



自見はなこ参議院議員



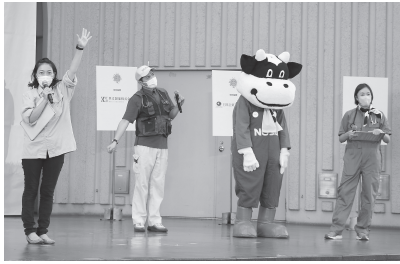
セーブペットプロジェクト寄付金を贈呈された藏内会長
(写真左からベリンガーインゲルハイムアニマルヘル
スジャパン株式会社 長谷部裕之代表取締役社長，藏内
会長，日本全薬工業株式会社 小倉憲夫取締役副社長)



ステージに開会宣言を運んだ
鷹を受ける砂原和文副会長



開会宣言をする
砂原副会長



知っていますか？ 獣医師の仕事



農林水産省動物検疫所羽田空港支所
による獣医師の仕事紹介



検疫探知犬デモンストレーション



猫・よもやまトークセッション



一日獣医師体験



馬とのふれあい写真撮影コーナー



多くの来場者で賑わう会場の様子



閉会の挨拶をする鳥海 弘動物感謝
デー企画検討委員会委員長（関東地
区理事・神奈川県獣医師会会長）



閉会の挨拶をする動物愛護週間中央
行事实行委員会委員長（田畑直樹
日本動物愛護協合理事長）



運営協力した
日本獣医学生協会
(JAVS) スタッフ